

私の学習法

渡来晃子

その1 計画を立てる

私は計画を立てることが好きでした。詰め込みすぎて計画倒れしたり、失敗もたくさんしたりしましたが、計画を立てないと落ち着きませんでした。計画を立てると安心し、計画通りいくと、達成感が味わえます。この達成感がやる気を引き出してくれるのです。

その2 書きまくる

受験勉強は丁寧にノートをとる必要はないと思います。覚えなくては行けない単語を、チラシの裏面などにとにかく書いていました。汚い字で。びっしり書かれた紙が山積みになるくらいやった時、力がついたと実感します。

その3 欲張らない

受験対策の参考書は何冊も買わない方がよいと思います。終わらなかったとき焦ってしまうから。それならば、1冊の参考書を何度も繰り返しやったほうがよいと思います。実際、高校受験、大学受験、教員採用試験と全て1冊ずつで勉強しました。思いが詰まった1冊を今も捨てられずに持っています。

その4 授業、部活は手を抜かない。そして感謝の気持ちを持つ

勉強ができないから、部活の時間を削るという考えは私にはありませんでした。部活をやらないほうが勉強に集中できるということはないと思います。寧ろ、部活を一生懸命やったほうが勉強に集中できると私は考えます。そして、部活は勉強では学ぶことのできないこともたくさんあり、特に私は「感謝」を学びました。家族、先生、仲間、学校、グラウンド…それは、受験勉強中も親への感謝を忘れないことにつながりました。誰も一人では乗り越えられない、誰かが支えてくれていることを見失わず、取り組むことが大切だと思います。